



## 笑顔あふれ、大勢でにぎわった勝山左義長まつり

2月21日・22日、300年以上続く伝統ある「勝山左義長まつり」が盛大に開催されました。今年度は穏やかな陽気が続いたこともあり、二日間で約8万5,000人がまつりを訪れ各地区の櫓で披露された左義長ばやしや絵行燈、作り物などを楽しみました。

### 演者側の参加者を増やしまつりを盛り上げる

今年度も勝山左義長まつりの開催を前に「勝山左義長おはやし講習会」が12月から2月にかけて計8回開催されました。この講習会は勝山左義長まつり実行委員会が、勝山左義長まつりの担い手を育成し、まつりを盛り上げようと毎年実施しています。今年度は子どもから大人まで県内外の男女77人が参加し、浮き太鼓や三味線、笛に挑戦しました。そして、今回は参加者の中で櫓にあがってみたいとい

**まつりのフィナーレは『どんと焼き』**  
22日午後8時、のろしを合図に弁天緑地に集められたご神体14基にご神火が点火されました。勢いよく燃え上がる炎は夜空を焦がし、まつりを締めくくりました。

う方の思いを叶えるため、地区とのマッチングを実施。講習会の参加者から数人が地区の櫓で演奏することになりました。福井市から参加した藤井さんは「緊張しましたが、左義長まつりの櫓に上がり演奏するという夢が叶い嬉しかったです。」と笑顔で話していました。



▲上後区の櫓で演奏する藤井さん

▶地域おこし協力隊の重安隊員も講習会を経て下後区の櫓で演奏を披露

### 皆さんに笑顔や感動を第56回子どもばやしコンクール

勝山左義長ばやしの担い手を育てようと毎年開催されている「子どもばやしコンクール」。今年度は6つの区が参加し、小学3～6年生が練習した成果を披露しました。こどもたちの笑顔溢れる浮き太鼓には、櫓前に集まった大勢の観客から盛大な拍手と歓声が送られていました。

みんなに笑ってもらえるように演奏できました。



結果	賞	地区名
	勝山市長賞	下長洲区
	優秀賞	芳野区、下後区
	奨励賞	上郡区、沢区、立川区

